

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習4③							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・夜間部	3年	3期	稲垣 元			○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	総合領域			座学	1	10	
科目概要							
<p>リハビリテーションは医療分野の中でも後発分野ではあるものの、最近では治療から再発防止にかけての切れ目のない取り組みの手法として頻用されるようになりました。高齢社会となった日本ではとくに持病を抱えた年齢層が増大し、リハビリテーションの必要性は高まるばかりです。総合演習4③では医療人に必要な教養としてリハビリテーション医学を中心に予防と回復について総合的に学びます。</p>							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標	1. リハビリテーションの理念と方法について説明できるようになる。 2. 運動器疾患のリハビリテーションの特徴や禁忌について説明できるようになる。 3. 呼吸循環器などのリハビリテーションの特徴について説明できるようになる。						
<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. リハビリテーションの理念について選択肢を提示されて、正解肢を選択できるようになる。 2. 運動器疾患のリハビリテーションの特徴や禁忌について選択肢を提示されて、正解肢を選択できるようになる。 3. 呼吸循環器、神経疾患についてのリハビリテーションの特徴や禁忌について選択肢を提示されて、正解肢を選択できるようになる。						
履修に必要な予備知識や技能							
予防と回復の促進1と2で履修した知識。							
教科書・参考書							
『リハビリテーション医学』東洋療法学校協会編							
受講上の注意							
SDGsの観点からできるだけ電子化資料を活用するスキルを身に付けていくように心がけていただきたいと思います。欠席超過にならないように自己管理行っていきましょう。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90	10					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	ICFについて学ぶ 障害の評価について、機能面と活動面、社会面など評価法の概略を学ぶ。以上の小テスト			リハビリテーション医学 P1-17	教科書 筆記用具		
第2回	廃用症候群など合併症について学ぶ 心理的評価について、性格テストと認知機能検査を学ぶ 以上の小テスト			リハビリテーション医学 P17-46	教科書 筆記用具		

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第3回	リハビリテーションに関わる専門職を学ぶ チームアプローチによる障害者支援を学ぶ 以上の小テスト	リハビリテーション医学 P17-46	教科書 筆記用具
第4回	理学療法と作業療法の専門職とその業務内容の概要を学ぶ 治療体操と運動療法について具体例を学ぶ 以上の小テスト	リハビリテーション医学 P17-50	教科書 筆記用具
第5回	理学療法のうち物理療法の治療器具について学ぶ 装具療法に使う装具について適応と禁忌を学ぶ 作業療法の具体例を学ぶ。以上の小テスト	リハビリテーション医学 51-66	教科書 筆記用具
第6回	脳卒中のリハビリテーションについて、疾病の特徴や合併症について学び、それらへの対応と支援方法を具体的に学ぶ。 以上の小テスト	リハビリテーション医学 67-78	教科書 筆記用具
第7回	脊髄損傷のリハビリテーションについて、疾病特性と必要な支援について学ぶ。疾病特有の支援方法を具体的に学ぶ。 以上の小テスト	リハビリテーション医学 79-123	教科書 筆記用具
第8回	切断のリハビリテーションにおける断端管理、義肢装着までの訓練を学ぶ。各種切断に対応した義肢について学ぶ。以上の小テスト	リハビリテーション医学 124-134	教科書 筆記用具
第9回	呼吸器・循環器・神経疾患について各種症状の概要とそれらに対応する支援方法の概略を学ぶ。また生活困難度についての評価指標の一部を学ぶ。以上の小テスト	リハビリテーション医学 P134-177	教科書 筆記用具
第10回	定期テスト	リハビリテーション医学1-177	教科書 筆記用具
実務経験と本講義との関連について			
地域密着型生活介護支援施設(グループホーム)の介護支援専門員として研修を行いました。高齢者の運動能力維持・向上を目指し、PTや機能訓練指導員とともに訓練計画立案から訓練実施、アセスメントに取り組んだ経験を活かし、講義します。			
メールアドレス			
inagaki@nihonisen.ac.jp			